

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		指定放課後等デイサービスいぶき保原中央				公表日	2026年 3月10 日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	室内の部屋の配置が工夫されていて、外には庭もあり十分に確保されている。	特になし			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	職員の人数の配置は適切です。	特になし			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	6	玄関には段差があるが、室内はフラットです。	特になし			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	0	支援終了後に清掃及び消毒をし、消毒はおやつや会食の前後にも行い更に1時間に1回の換気も行い清潔で心地よく過ごせる様に務めている。	特になし			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	二部屋繋げたホールがあり、部屋を使い分け遊びに応じて子ども達が遊び使用している。	特になし			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7	0	毎日の職員内合わせの中で、子どもの対応について共有し、療育について振り返りを行っている。	特になし			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	毎年1月下旬頃にアンケートを行い、2月中旬に集計。改善策などを考慮し業務改善に繋げている。	特になし			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	年末に勤務、職務、療育について抱負などのアンケートを行い、日々の打ち合わせの中で意見交換の場を設け、業務改善につなげている。	特になし			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	第三者による評価にはないが、担当者が適切に評価している。	特になし			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	毎朝の職員打ち合わせの時に学び会を実施し更に外部講師を年に2回招き、研修を行い学びの機会を確保している	特になし			
適切	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	児童発達管理責任者が中心となり、職員が打ち合わせを行い、支援プログラムを作成、公表している。	特になし			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	送迎時及び担当者会議の時に話しを聞くと共に保護者へのアンケート用紙（家庭での様子や希望等）更にアセスメントツールを用いそれを参考に計画を作成している。	特になし			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	施設内担当者会議を開催し、児童発達支援管理責任者が中心となり、職員からの声や意見、保護者へのアンケートを基に協議し合い共通理解を図り、子どもの最善の利益を考慮し立案している。	特になし			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	放課後等デイサービス計画を、確認し、共有しながら計画に沿ったその子に応じた支援が行える様にしている。	特になし			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	フォーマルな複数のアセスメントツールを用い評価をし、インフォーマルなアセスメントとして保護者への聞き取りや日々のケース記録等をインフォーマルなアセスメントツールを用い確認している。	特になし			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	「本人支援」・「家族支援」・「移行支援」・「地域支援・地域連携」の目標や支援内容を踏まえ、具体的に支援していく事に心がけている。	特になし			

な 支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・職員で話し合い、意見を集約し、活動プログラムを立案している。	特になし
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・その日の子どもの様子や、メンバー、天候なども考慮し、固定化されない様にプログラムを作成している。	特になし
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・個別課題、サーキットトレーニングやグループ活動など小集団での活動と個別活動を組み合わせ立案し支援を行っている。	特になし
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・前日の反省や申し送りを行い、療育の計画、子ども達への配慮の仕方、送迎の時間、保護者への対応などの話し合い更に役割分担、支援の仕方を確認している。	特になし
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・送迎終了後、その日の療育を振り返り、気が付いた事、反省を共有している。	特になし
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・日誌やケース記録を記入し、気づきや反省を見つけ、支援の検証や改善につなげている。	特になし
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・原則として6か月に1回モニタリングを行い、計画の見直しを行っている。但し必要があれば6か月以内でも行うことがある。	特になし
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	0	・放課後等デイサービスガイドラインの内容をいぶき保原中央の療育に照らし合わせ、支援をしている。	特になし
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0	・好きな遊びの時間に、教具や遊具、材料などを十分に用意し、それに応じた場所も設定し、自分で遊び、自分から取り組める様に環境を整えている。	特になし
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・いぶき保原中央に相談支援専門員が訪問し、自発管が主に参画し会議を行っている。	特になし
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	地域の関係機関等と連絡を取り、必要に応じて連携を取る様にしている。	特になし
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7	0	学校からのメール配信や送迎の時に情報の交換を行い共有を図っている。	特になし
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7	0	・年度末に、新年度入所予定の児童の様子を見学に行き、担当者会議を行い、互いに理解を務めている。	特になし
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0	・今年度はいまませでしたが、就労支援事業所、生活介護支援事業所などへの移行する児童が在籍した時は、情報を提供するように努めている。	特になし
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7	0	連携はあるが、助言や慣習を受ける機会はなかった。	特になし
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7	0	・放課後児童クラブとの交流はないが、公園、屋内遊び場へ出かけた際には活動の機会があった。	特になし
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7	0	いぶきグループの代表が出席し報告を受け、それに応じた話し合いの場をもち情報の共有をしている。	特になし
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・送迎の際に、1日の様子を伝えたり、必要に応じた情報などを伝え共通理解を図っている。	特になし
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	0	・必要に応じ、保護者へのアドバイスや支援を行っている。	特になし
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時、更新やモニタリングの際に説明をしている。	特になし
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	計画更新時及び、モニタリングの際に子どもの意向や保護者の意向を受け止ながら、子どもの最善の利益の優先を考慮し立案し、確認する機会を設けている。	特になし

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0	計画の更新及びモニタリング時に、放課後等デイサービス計画について説明をし、確認をしていただき同意を得て発行している。	特になし
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	相談をいつでも受けられる体制を取り、助言やアドバイスをを行っている。	特になし
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7	0	・年2回外部講師を招いて講演会を企画、そのご保護者同士の交流の時間を設けた。	・今まで講演会の後に交わりの時をもって北が、保護者にとっては十分ではないと思われるので、次年度は保護者が交流できるイベントを企画し実行に至る様にしたい。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・迅速かつ適切に対応できる様に、担当者が対応している	特になし
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・定期的にいぶきつうしんを発行し、活動内容や子ども達の様子をお知らせしている。	特になし
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	職員が入社時、個人情報に対する契約書を交わし、職員打ち合わせの際に注意を喚起している。	特になし
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	子どもや保護者に応じた対応を行い、情報伝達が進むようにしている。	特になし
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7	0	今年度も感染症対策のため実施を控えてきた。	感染症対策等で開催していなかったため、年度は開催を検討したい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・契約時やモニタリング、更新の際に内容を伝え、玄関に掲示し閲覧できる様にしている。	特になし
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・定期的に避難訓練（火災、地震、水害を想定して）を実施している。	特になし
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7	0	入所時及び、年度初めにフェースシートを渡して、疾病歴、予防接種歴、服薬の有無、痙攣を含む障がい名を記入いただき、変更があった時は、追記及び、訂正している。	特になし
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・アレルギーの有無を面談の際に保護者から聞き取りを行い、記録を残し共通理解を図り対応している。	特になし
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	非常時についての話し合いや、避難訓練を実施し、安全管理が十分に行える様にしている。	特になし
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	子どもの安全確保について、契約時や更新（モニタリング）時に話しの時間を設け、ご家族への周知をしている。	特になし
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	今年度もヒヤリハット事例集に掲載する事例は発生しているが、過去の事例集は読み合わせをしている。	特になし
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	年に1回の外部講師を招いての研修や、朝の打ち合わせの際に、虐待防止についての話し合いの時間をもち、周知している。	特になし
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0	・身体拘束等適正化委員会を開催し、組織内で内容及び実施不実施のついて確認している。今年度も、身体拘束等実施はなかった。	特になし	